

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 4 月 5 日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (4/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力 <sup>*1</sup>	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中		24.4	106.0 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.00 vol%
		炉心スプレー系: 約 1.9 m <sup>3</sup> /h 給水系: 約 4.8 m <sup>3</sup> /h			
2号機	淡水 注入中		50.5	24.70 kPa g	A系:0.21 vol% B系:0.20 vol%
		炉心スプレー系: 約 6.1 m <sup>3</sup> /h 給水系: 約 2.9 m <sup>3</sup> /h			
3号機	淡水 注入中		55.5	0.29 kPa g	A系:0.18 vol% B系:0.17 vol%
		炉心スプレー系: 約 5.1 m <sup>3</sup> /h 給水系: 約 1.9 m <sup>3</sup> /h			

\* 1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## <2. 使用済燃料プールの状況> (4/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.0
2号機	循環冷却システム	運転中	15.4
3号機	循環冷却システム	運転中	15.1
4号機	循環冷却システム	運転中	26

【4号機】・4/5 13:20～16:25 原子炉ウェルヘビドラジンの注入を実施。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元 → 移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋 → 集中廃棄物処理施設 [ 雜固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	3/20 10:14～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋 → 集中廃棄物処理施設 [ 雜固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	4/3 10:08～ 4/5 14:54 移送実施
6号機	6号機 タービン建屋 → 仮設タンク	4/5 10:00～ 16:00 移送実施

#### <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (4/5 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H24/4/5 1:05 頃、淡水化装置(逆浸透膜式)から濃縮水を濃縮水貯槽に送る流量が上昇したことから、水の漏えいの可能性があるため、1:10 頃、同装置を手動にて停止。水の漏えいを防ぐために、1:45 頃、淡水化装置から濃縮水を濃縮水貯槽に送る配管(耐圧ホース)の前後にある弁を閉止。当社社員が現場を確認したところ 1:50 頃、同配管からの水漏れが確認されたが、淡水化装置の停止および弁を閉めたことにより、2:20 頃、漏えいが停止していることを確認。また、耐圧ホースの保温材より漏えいしていたことを確認したことから、保温材を外したところ、接続フランジ部から耐圧ホースが外れていることを確認。約 12m<sup>3</sup> の濃縮水が、一般排水用の排水溝を経由して、海へ流出している可能性があることから、漏れた水、排水溝内の水および1～4号機側放水口から南側に約 300m 離れた一般排水用の排水溝出口付近の海水について、サンプリングを実施。その結果、漏れた水、排水溝内の水からガンマ線核種が検出されたものの、排水溝出口付近の海水は検出限界未満であることを確認。今後、サンプリングした水の全ベータ放射能の分析を行う予定。なお、淡水化装置(逆浸透膜式および蒸発濃縮装置)は運転を停止しているが、淡水化処理した水は十分にあることから、原子炉注水への影響はない。
- ・H24/4/5 1:05 第二セシウム吸着装置において、警報が発生し同装置が自動停止。現場を確認した結果、漏えいがないことを確認。現在、警報の原因について確認中。

#### <5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/4/5 3号機原子炉建屋上部において、大型クレーンによるダストサンプリングを実施。

以上